

自動ブレーキなど先進技術を搭載

## 安全サポート車

安全運転サポート車の試乗会で説明を受ける高木副大臣（左側） 22日 経産省



◆高木副大臣が試乗

## 高齢者の事故防止に有効

高齢ドライバーによる交通事故を防ぐために政府が普及をめざす、自動ブレーキなどの先進安全技術を搭載した「安全運転サポート車」の試乗会が22日、経済産業省で開かれた。高木陽介経産副大臣（公明党）が体験乗車した。

試乗会では、国内の自動車メーカー8社が製造した安全運転サポート車が集結。試乗した高木副大臣は、車両に設置したレーダーとカメラで前方の車や歩行者を検知し、衝突の危険がある緊急時に作動する自動ブレーキをはじめ、停車時にアクセルを強く踏み込んでも、障害物があれば急発進を抑制するペダル踏み間違い防止機能の性能を確認した。

試乗を終えた高木副大臣は、「高齢ドライバーの事故防止対策に有効。普及啓発をさらに進めていきたい」と語った。